

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	25087
課題名	限局性強皮症治療の単施設後方視的解析－病型・治療期間と再発との関連性についての検討－
研究期間	西暦 2025 年 9 月 1 日（実施許可日）～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に旭川医科大学皮膚科を受診した限局性強皮症の患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（病歴（性別、年齢、家族歴、既往歴、生活歴、発症時期、転機、治療（使用された薬剤名、期間）、皮膚症状、各種検査結果）など ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ■その他（皮膚科において通常診療上で得られた皮膚病理診断に使用した HE 染色プレパラート、免疫組織プレパラート） ■利用予定日（開始日 研究機関長の実施許可日から 1 ヶ月）
研究の意義、目的	限局性強皮症は、皮膚に限局した組織傷害とそれによる皮膚硬化・線維化を来たす慢性炎症性疾患です。病気の原因は明らかにされていませんが、自己免疫異常が関わりと考えられています。実際、一部の患者さんでは、血液検査で各種自己抗体を含む自己免疫学的異常を認めることがあります。 今回、当科を受診した限局性強皮症患者さんの臨床の特徴と経過、治療、再発率の関連性について明らかにすること目的に後ろ向きに解析を行います。
研究の方法	以下の情報と既存の検体を用いて解析を行います。 1）診療記録から既往歴、臨床症状、治療、経過と予後などを調べます。 2）皮膚科において通常診療上で得られた皮膚病理診断に使用した HE 染色スライド、免疫染色スライドを再確認します。
その他	当研究は、いかなる企業・団体からも受託研究費、試薬及び関連する消耗品の提供、医療機器を貸与（又は譲渡）されていません。本研究に利害関係が発生した場合、旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ます。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
--	---------------------------------

旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1

Tel: 0166-68-2523

旭川医科大学皮膚科学講座 小坂太一（研究責任者）

試料・情報の管理について責任を有する者：旭川医科大学学長 西川祐司